

令和4年8月30日 定例記者会見発言録

政策財政部次長

定刻になりましたので、ただいまから定例記者会見を行います。本日の進行を務めます政策財政部次長の町田です。よろしくお願いいたします。

配布資料の確認をさせていただきます。本日の配布資料は、次第、定例記者会見資料、行事等の開催日程、市議会定例会会期日程、チラシ4種類、議案等の議会提出資料一式でございます。以上ですがよろしいでしょうか。

それでは、森田市長お願いいたします。

市長

おはようございます。本日は定例記者会見ということで各社の皆様には、ご多用の中、お越しいただき誠にありがとうございます。

私からは、9月定例市議会提出案件の概要、市政トピックス、行事等の案内の3点について、報告します。

はじめに、9月定例市議会提出案件の概要です。今期、定例市議会に提出する案件は、条例制定等の一般議案8件、補正予算9件、決算認定8件、報告5件の計30件です。

議案等について、主なものを説明します。

議案第41号は、東松山市手数料条例及び東松山市印鑑条例の一部を改正する条例制定についてです。

個人番号カードを使用してコンビニエンスストアなどに設置されている多機能端末機で住民票や印鑑登録証明書、所得証明書等の交付を行うため、手数料の額及び印鑑登録証明書の交付に係る手続を定めるものです。

なお、多機能端末機での手数料は、個人番号カードの普及促進を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策として窓口混雑緩和を目的として、令和7年3月31日まで、特例的に半額とします。

住民票等のコンビニ交付は、令和5年3月20日から全国の手続きチェーンなど約56,000店舗で、午前6時30分から午後11時までの間で利用できます。手数料は通常窓口では200円ですが、半額の100円となります。

議案第48号は、令和4年度東松山市一般会計補正予算（第4号）についてです。

一般会計補正予算第4号は、歳入歳出それぞれ14億5,757万円を追加し、歳入歳出予算の総額を334億6,660万8,000円とします。

今回の補正予算の主なものは、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請期間延長に伴う支援金や、ふるさと納税の返礼品代、住民票等をコンビニエンスストアなどで交付するためのシステム改修費などを計上します。

補正予算のふるさと納税による寄附の増加についての報告です。

ふるさと納税ポータルサイトや返礼品の充実により、昨年の4月から7月分までと比較して、寄附件数が約7.1倍、66件から468件。寄附金額では約6.3倍、1,586,000円から10,006,647円と大幅に増加となりました。今後も新規の返礼品を開拓し、更なる寄附の増加を目指すとともに、市の特産品等の認知度向上と地域経済の活性化につなげます。

続いて、市政トピックスを紹介します。

はじめに、防災・減災の分野、令和4年度東松山市総合防災訓練についてです。

本年度は、大地震発生直後の課題について模擬体験し、情報共有等、基本動作の習熟と関連機関との連携強化及び市民の防災意識の向上を目的とした訓練を実施します。

9月3日（土）、午前8時から市役所や各市民活動センター、高坂図書館、市内9か所の避難所等を訓練会場とし、災害対策本部、現地災害対策本部の運営、避難所等の開設、災害時行動確認などの訓練を実施します。

次に、地域福祉の分野、シニアのための今を「豊か」に“ここプロ”フェスタについてです。

「楽しみたい、働きたい、貢献したい」をテーマに、健康寿命の延伸や介護予防を目的とした、シニアのためのイベントを官民連携で10月6日（木）午後1時から市民文化センターで開催します。市民病院の野村院長による認知症講座や鎌倉殿を支えた武蔵武士クイズ、協力企業による認知機能測定や血管年齢測定、シニア向け就職セミナーなど、盛りだくさんの内容です。

いきいきパスポイントの対象事業もありますので、多くのシニアの皆さんの参加をお待ちしています。“ここプロ”とは、“心のこもった地域福祉プロジェクト2020”の略称です。2020年にこのプロジェクトが始めたのですが、コロナ禍だったため、今年度からしっかり取り組んで行きたいと考えています。

次に、文化芸術です。「高田博厚展2022」についてです。

10月19日（水）から11月10日（木）まで、市民文化センターで企画展を開催します。ご遺族などから寄贈を受けた彫刻作品や絵画などを展示します。また、今年度は東松山市応援団員の絵子猫さんとのコラボ企画として、「絵子猫さんが描くプロムナードコーナー」も設置します。

10月22日（土）には市民文化センターで「絵子猫さんと高坂彫刻プロムナード」と題し、絵子猫さんの講演会を開催します。イラストレーターとして第一線で活躍する絵子猫さんに、幼少時代のお話や絵子猫さんが考えるアートの力、身近なアートの楽しみ方などについてお話をさせていただく予定です。

次に、「第45回記念大会日本スリーデーマーチ」についてです。

記念大会の今年は、現在放送中の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場する比企一族をはじめ、鎌倉武士の歴史に思いをほせていただく大会とし、コロナ禍以前の大会規模で開催します。

また、特別企画として、9月29日(木)、市民文化センターで日本スリーデーマーチにゆかりのある東松山市應援団員でシンガーソングライターのさくまひできさん、トモヨさんによるミニライブ、東松山市が生んだ世界のアルピニストの大山光一さんによる応援イベント「ウォーキングのまちから富士山に登ろう」の報告会、3人によるトークセッションを開催します。参加費は無料ですので、皆さまのご来場をお待ちしています。

次に、市民病院における新型コロナウイルス感染症の対応状況について報告します。

市民病院では新型コロナ専用病棟を開設し、埼玉県の病床確保フェーズに合わせて専用病床を確保しています。8月1日からは4床から15床にベッドを増やして入院患者の対応をしています。また、7月26日から新型コロナ検査体制を拡大し、午前中は有症状者の発熱外来、午後は無症状の検査希望者、濃厚接触者を対象に、検査を実施しています。

なお、7月1日から8月22日まで検査実施数と陽性率の推移はグラフのとおりです。最大の検査実施数は72件、最高陽性率は56.1%となっています。

次に、令和4年7月12日の記録的短時間大雨についての報告です。

7月12日から13日にかけての記録的大雨により、河川の溢水、浸水被害、土砂災害が発生しました。

被害の状況ですが、人的被害はありませんでしたが、家屋の被害は、床上浸水が5件、床下浸水が15件、車両の被害は、水没が10台、土砂災害は、道路など市内16か所で発生しました。河川の溢水は、市の南部を流れる九十九川で、2か所ありました。避難所の状況は、32か所を開設し、最大で309人の方が避難をされました。なお現在、土砂災害の復旧作業を順次進めています。

次に、行事等の案内です。プレミアム率50%ひがしまつやまプレミアムグルメ券についてです。

市内飲食店の魅力の周知と活性化の促進を図る目的で、プレミアムグルメ券を発行します。発行数は1,500冊で、販売価格は1冊2,000円、利用金額は3,000円です。

購入申し込みは令和4年9月8日から9月30日まで、利用期間は令和4年11月1日から令和5年1月31日までです。事業の実施は東松山市観光協会です。どなたでも購入できますのでよろしくお願ひします。

最後に、お手元に、令和4年9月上旬～11月下旬の行事等の開催日程を配布しておりますので、ご確認ください。

私からの報告は以上です。

政策財政部次長 質問がございましたらお願いいたします。初めに幹事社からお願いいたします。

毎日 毎日新聞の中村です。市民病院の件ですがコロナ病床を増やしたということですが現在の満床率はどのくらいでしょうか。

市民病院事務部長 市民病院事務部長の野地です。コロナ病床15床用意していますが、先週までの直近の状況は、ほぼ満床でした。今週に入って若干減りまして、昨日9人入院している状況です。

毎日 今後の見通しはいかがでしょうか。

市民病院事務部長 今週に入って若干、入院患者が減っていますが、9月に入って新学期が始まると、また状況が変わるかなと思います。明確な状況は見通せないです。

毎日 プレミアムグルメ券ですが、市外の方でも構わないということですか。

市長 どなたでも結構ですが、市内の飲食店が対象になります。

毎日 外に対してもPRされているのでしょうか。

市長 総数が1,500冊です。

毎日 市外の方が応募して市民の方が当選しないということも起こるかなと思ひまして。

市長 どうなるか予測できません。

毎日 コロナの全数把握の件ですが、自宅療養者への支援に影響がでると懸念されますがいかでしょうか。

市長 埼玉県の方針を受けて対応していきたいと思っています。

毎日 中には、お年寄りで一人暮らしをされている方とか支援が必要な方の把握ができないのは厳しいのでは。

市長 そういう方には配慮する必要があると思います。

東京 東京新聞の北浜です。ひがしまつやまプレミアムグルメ券について利用可能店舗ですが、現在募集中ということですが、どのくらいになりますか。

環境産業部長 環境産業部長の関根です。本日現在76店舗です。

東京 今後増える見込みですか。

環境産業部長 募集中ですので増えていくかと思えます。

東京 募集はいつまでですか。

環境産業部長 事業を行っているときは受けていくと観光協会から伺っています。

朝日 朝日新聞の永沼です。新型コロナウイルス感染症の対応状況の件で追加ですが、市内の他の医療機関の発熱外来などの状況は把握していますか。

健康福祉部長 健康福祉部長の今村です。市内の発熱外来については、病院のかかりつけ患者のみとか、誰でも検査できるとか、県のホームページから検索できるようになっています。

朝日 ひっばくしているか、需要を満たしているか状況はわかりますか。

健康福祉部長 全ては把握している状況ではないですが、ひっばくして全く検査が受けられないという状況ではないと聞いています。

朝日 医療機関によっては、発熱外来の人数制限している所もあるようですが、把握していますか。

市民病院事務部長 例えば市民病院の場合ですと午前、午後に検査を行っており、1日最大60件を目途に行っています。毎日お断わりをしていますので、80件位は問合せがある状況です。

朝日 市民病院の場合は上限60件としていて、状況に応じて上限を緩めている状況ですか。

市民病院事務部長 目安は60件としていますが、他院の受付状況とか院内の医師、看護師の体制によって、可能な限り受けている状況です。

朝日 例えば最大60件検査可能で問合せ80件あった場合の残りの20件の人はどうしているのか、需要を満たしているのでしょうか。

市民病院事務部長 検査申込をして当日受けられなかった場合、翌日、翌々日に予約を取られるケースがほとんどです。急いで受けたい場合は他の診療検査医療機関、無料検査を行っている所で需要を満たしていると推測されます。

朝日 検査キットの配布を受けて検査を行っているということでしょうか。

健康福祉部長 補足ですが、東松山市では毎週、週の感染者数を調べており、7月31日の週では1日平均153人、次の週は139.3人、14日の週は109.1人、21日の週は112.7人と若干増えています。市内で感染者が増えている週では、検査が受けられないという問い合わせが保健センターにもありました。

読売 読売新聞です。大雨の件ですが人的被害がなしということですが、他の自治体も含めてなかったかと思いますが人的被害がなかった理由は分析していますか。

市民生活部長 市民生活部長の中嶋です。人的被害が0人ということですが、災害の規模が大きくなかったこととこれまで防災訓練等を通じて早めの避難を心がけるようマイタイムラインの作成などに取り組んだことも功を奏したと認識しています。

読売 市民も避難を迅速にしていたということでしょうか。

市民生活部長 はい。令和元年の東日本台風の被害もあり、そのことを教訓に自主防災組織リーダー研修、地域の防災訓練を手厚く行っていることが影響していると認識しています。

読売 スリーデーマーチですが、事前申し込みが8月1日から始まっていますが、申し込み人数は。

生涯学習部長 生涯学習部長の山田です。現在の登録者数ですが、8月1日から事前登録が始まりまして2週間後の8月14日で1,116名です。42回大会と比べて、若干少ない登録者数となっています。8月末で集計しますと、今日現在、1,521名となっており、前回の大会と比べると約50%です。団体等の申し込みがまだですので、推測すると前回大会の7割程度の申し込みがあると推測しています。

読売 1,521人は、個人の申し込みということでしょうか。

生涯学習部長 個人の申し込みです。

読売 ふるさと納税ですが、結構な伸びだと思いますが、他に伸びた理由、工夫されたことはありますか。

市長 返礼品を充実させました。ポータルサイトを4社に増やしたことが大きな理由かと思っています。

読売 ポータルサイトが4社ということですが、元々何社でしたか。

市長 1社だけでした。ふるさとチョイスだけでした。

読売 返礼品も増やされたということですか。

政策財政部長 政策財政部長の黒田です。コエドビールについても瓶と缶とのセットとか、市内在住の陶芸家のカップと合わせた返戻品も用意しています。今後も拡大に努めていきます。他には工場で生産したフリルレタスなどの件数が伸びています。

朝日 ふるさと納税の件で追加質問ですが、目標額は。

市長 目標額を定めていませんでした。

埼玉 各紙で質問していますが、旧統一教会との関係はありますか。

市長 全くありません。

朝日 各紙で質問していますが、国葬の件ですが弔意を強制するものではないという話ですが、今の市の対応は。

市長 政府の発表した通りで、弔意を強制することはありませんし、対応する予定もありません。

朝日 葬儀に参加する予定は。

市長 葬儀の日は、心安らかにご冥福をお祈りするだけです。

毎日 市長がコロナに感染されたと思いますが、どのように感じられましたか。

市長 家庭内感染で症状は軽症でした。後遺症等はありません。

毎日 困ったこととか影響はありましたか。

市長 公務については、メール等で連絡していたので支障はありませんでした。家内が感染しなかったのが調達等の不自由はありませんでした。感想としては、感染防止を呼び掛けている本人が感染してしまったので、さらに気を付けなければいけないと思いました。

毎日 かなり感染が広まっており、重症化する傾向も減っていますが、ウイズコロナという言葉が普通の言葉になってきていますが、いかがですか。

市長 コロナウイルス感染症については、受け止め方が違う感じがします。当市においては、民間の団体やグループの活動が制限されています。盆踊りや祭りや体育祭がなくなったり、市が行っていない事業が皆さん自粛している状況です。しかし地域コミュニティを考えると感染防止をしながら、小さい規模のお祭りなど少しずつ始まっている状況です。まさにウイズコロナです。

政策財政部次長 以上で本日の定例記者会見を終了いたします。ありがとうございました。

市長 ありがとうございました。